

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用方法

目次

- 1 はじめに（サービスの概要、利用上の注意）……………p.1
- 2 検索の仕方（本を探す）……………p.3
- 3 閲覧の仕方（本を読む）……………p.7

1 はじめに（サービスの概要、利用上の注意）

1.1 サービスの概要について

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」（送信サービス）は、国立国会図書館でデジタル化した図書や雑誌のうち、絶版などで現在手に入らないものについて、国立国会図書館の承認を受けた全国各地の公共図書館や大学図書館などで見られるようになるサービスです。

1.2 見ることができる図書・雑誌など

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、送信サービス参加図書館で見られるものは、絶版などで現在手に入らない図書・古典籍・雑誌・博士論文（表 1）です。

お探しの図書や雑誌などが送信サービスの対象となっているかどうかは、国立国会図書館のウェブサイト内の「国立国会図書館デジタルコレクション」（図 1）で検索して確認することができます。この確認は、ご自宅のパソコンやスマートフォンからでもできます。

なお、インターネット公開のものは、ご自宅などから「国立国会図書館デジタルコレクション」にアクセスして本文画像を見ることができます。

図書	昭和 43 年頃までに国立国会図書館が受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 ※現在も流通しているものや、漫画・絵本は国立国会図書館限定
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等
雑誌	明治期以降に発行された雑誌（刊行後 5 年以上経過したもの） ※商業出版社によるものは国立国会図書館限定
博士論文	平成 2～12 年度に送付を受けた論文 ※商業出版されているものは国立国会図書館限定

表 1 送信サービス参加図書館で利用できるデジタル化資料



2 検索の仕方（本を探す）

送信サービスで利用できる図書や雑誌を読むためには、まず、「国立国会図書館デジタルコレクション」の中から目的のものを探すための検索を行い、そこで表示される検索結果一覧の中から、読みたいものを選ぶという手順となります。

検索の方法には、簡易検索と詳細検索があります。簡易検索では検索結果が多すぎる場合などは、詳細検索をお使いください。

2.1 簡易検索

「国立国会図書館デジタルコレクション」の簡易検索ボックス（図 2-1 赤枠 a）にキーワードを入力し、ボックスの右側にある「検索」ボタンを押して検索してください。キーワードとは、図書や雑誌のタイトル、著者、出版社、目次に含まれる言葉などです。

ボックスの左側の部分が「すべて▼」となっている場合は、図書や雑誌など、全ての種類の資料が検索対象となりますが、▼を押すと、検索対象を「図書だけ」や「雑誌だけ」などに切り替えることができます。

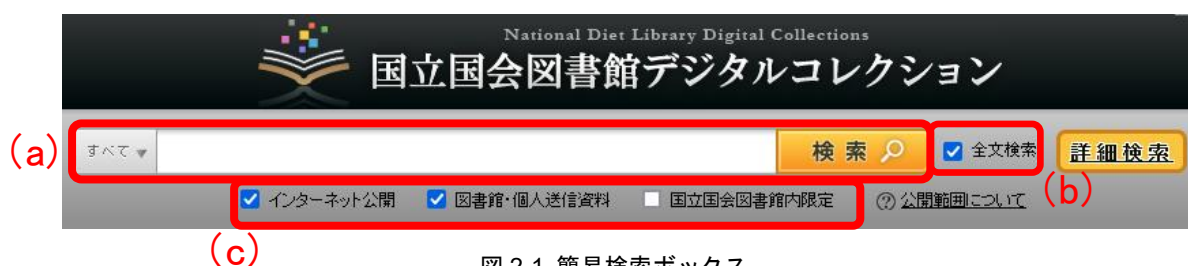


図 2-1 簡易検索ボックス

検索ボックス右横のチェックボックス（図 2-4 赤枠 b）をチェックすることにより、全文テキストを持つ資料の全文検索ができます。

また、検索ボックス下のチェックボックス（図 2-1 赤枠 c）により、この図書館で見られるものに限って検索したり、国立国会図書館でのみ見られるものも含めて検索することができます。それぞれのチェックボックスにより検索の対象となるものについては、表 2-1 をご覧ください。

チェックボックス	検索の対象となるもの	この図書館で見られるかどうか
インターネット公開	インターネットでどこからでも見られるもの	見られる
図書館・個人送信資料	国立国会図書館と送信サービス参加図書館で見られるもの、また日本国内に居住する国立国会図書館の個人の登録利用者が見られるもの（「インターネット公開」分を除く）	見られる
国立国会図書館内限定	国立国会図書館でのみ見られるもの	見られない

表 2-1 それぞれのチェックボックスが示す公開範囲

この図書館で見られるものの中から探したい場合は、「インターネット公開」と「図書館・個人送信資料」のチェックボックスにチェック（☒）を入れて検索してください。

国立国会図書館でしか見られないものも含め、「国立国会図書館デジタルコレクション」に入っている全てのデジタル化資料を検索する場合は、全てのチェックボックスにチェックを入れてください。

「国立国会図書館内限定」のものは、この図書館では本文画像を見ることはできませんが、書誌情報（タイトル、著者など）や目次は見ることができます。また、見たい部分が特定できる場合は、国立国会図書館に申し込むことにより、複写物（紙に印刷したもの）を手に入れることもできます。国立国会図書館への申込については、図書館の職員にご相談ください。

2.2. 詳細検索

簡易検索ボックスの右側にある「詳細検索」の文字の部分（図 2-2 赤枠）をクリックすると、詳細検索の画面（図 2-3）になります。

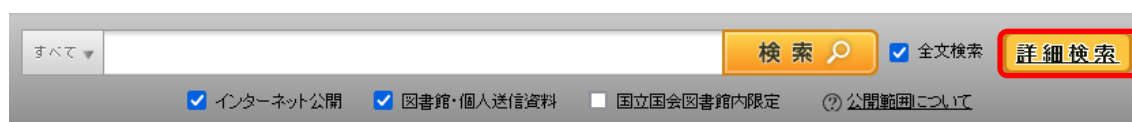


図 2-2 詳細検索画面へのリンク

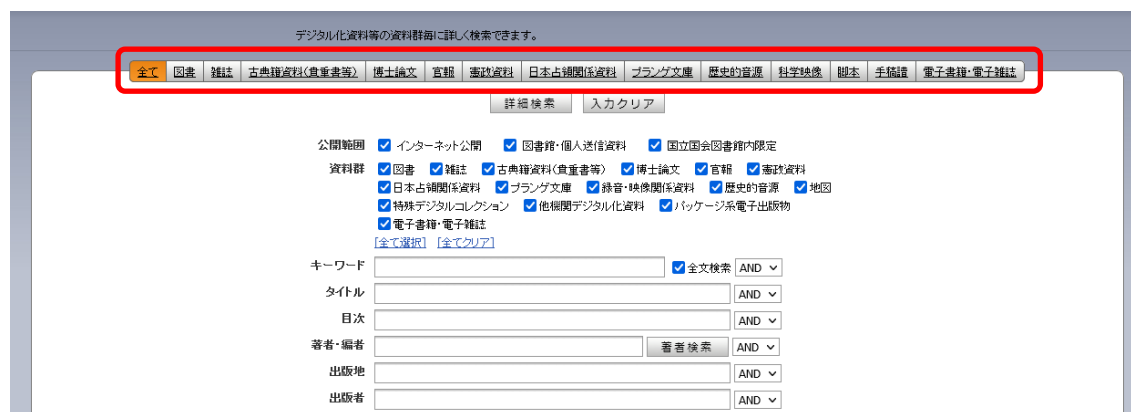


図 2-3 「詳細検索」画面

詳細検索の画面では、タイトル、著者、出版者などの項目ごとに、検索語を指定して検索することができます。なお、全ての項目に入力する必要はありませんので、分かっている項目だけ入力して、「詳細検索」ボタンを押してください。

また、最初は全ての資料が検索対象となっていますが、画面上部のボタン（図 2-3 赤枠）により、検索の対象を「図書だけ」「雑誌だけ」などに切り替えることができます。

検索方法の詳細については「国立国会図書館デジタルコレクション」のヘルプ<<https://dl.ndl.go.jp/ja/help.html>>をご参照ください。

2.3.検索結果一覧画面

検索を行うと、検索結果一覧が表示されます(図 2-4)。この中から見たいものを選ぶと、本文の画像を見ることができます。



図 2-4 検索結果一覧

2.3.1 検索結果一覧の見方

一覧の部分(図 2-4 赤枠 d)に、検索条件に合致した図書や雑誌などについて、タイトル、著者名、出版者、出版年などのデータが表示されますので、読みたいもののタイトル(青字部分)をクリックすると、本文の画像が表示される閲覧画面に移動します。

検索結果の量が多い場合は、複数のページで表示されますので、ページ切り替えボタン(図 2-4 赤枠 c)でページを切り替えてください。なお、検索結果が 3,000 件を超える場合は、3,000 件までしか表示されません。

また、検索結果一覧画面で一度に表示する数や表示する順番(タイトル順、年代順)を変更するには、図 2-4 赤枠 b の部分を変更して「再表示」のボタンを押してください。

一覧の部分で、タイトルのすぐ右に表示される「国立国会図書館限定」アイコン(図 2-5 赤枠 a)や「国立国会図書館/図書館・個人送信限定」アイコン(図 2-5 赤枠 b)などにより、各タイトルの公開範囲(どこで見られるか)を確認することができます。それぞれのアイコンが示す公開範囲は、表 2-2 のとおりです。



図 2-5 公開範囲を示すアイコンの例

アイコン	公開範囲	この図書館で見られるかどうか
国立国会図書館限定	国立国会図書館でのみ見られるもの	見られない
国立国会図書館/図書館・個人送信限定	国立国会図書館と送信サービス参加図書館で見られるもの、また日本国内に居住する国立国会図書館の個人の登録利用者が見られるもの（インターネット公開資料を除く）	見られる
（上記のアイコンなし）	インターネット公開資料（インターネットでどこからでも見られるもの）	見られる

表 2-2 検索結果一覧画面のアイコンごとの公開範囲

この図書館では、「国立国会図書館/図書館・個人送信限定」のアイコンが表示されるものと、インターネット公開資料（アイコン表示がないもの）の本文画像を見ることができます。

2.3.2 絞り込み検索

検索結果の数が多すぎる場合などは、画面左側の「絞り込み」のエリア（図 2-4 赤枠 a）を使って検索結果を絞り込んで、表示される数を減らすことができます。

一番上にある入力ボックスではキーワードの追加ができます。その下の部分では、「公開範囲」や、資料の種類（図書、雑誌など）などの青字部分をクリックすることにより、検索結果一覧の中から該当するものだけを表示することができます。「公開範囲」の部分では、図 2-6 のように絞り込むことができます。

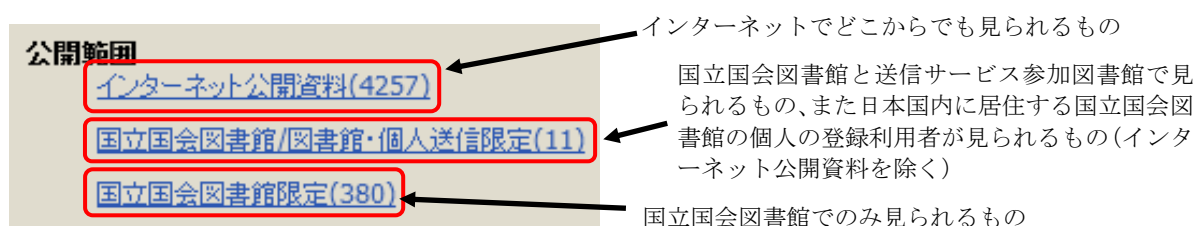


図 2-6 「公開範囲」による絞り込み

3 閲覧の仕方（本を読む）

3.1 閲覧画面の操作方法

3.1.1 閲覧画面

検索結果一覧画面（図 2-4）で目的の図書や雑誌のタイトル（青字部分）をクリックすると、本文の画像が表示される閲覧画面（図 3-1）に移動します。

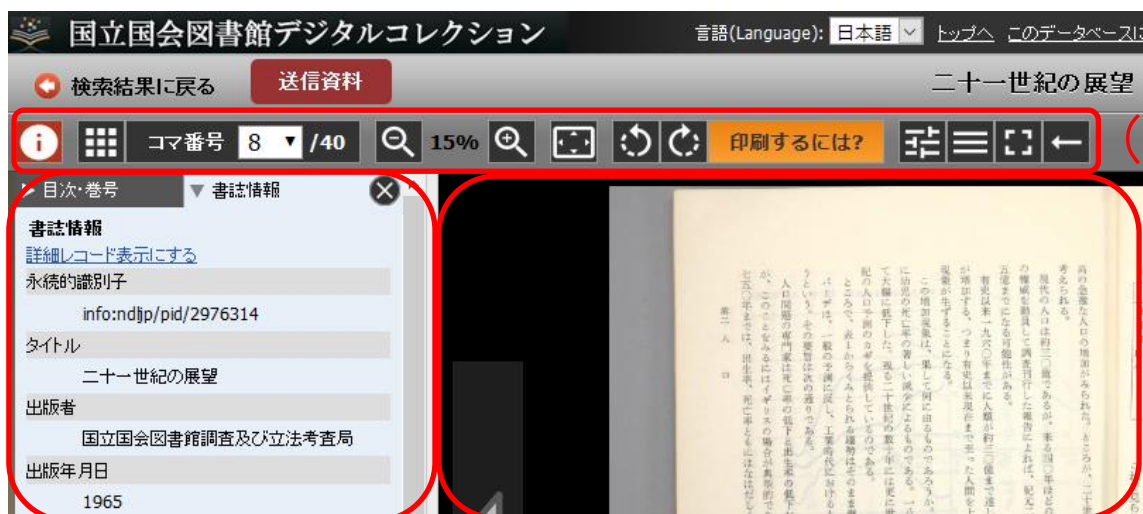


図 3-1 閲覧画面

閲覧画面には、大きく分けて、書誌情報エリア（図 3-1 赤枠 a）、操作ボタンエリア（図 3-1 赤枠 b）、画像表示エリア（図 3-1 赤枠 c）があります。

操作ボタンでページ送りや画像の拡大などをしながら、画像表示エリアに表示される本文画像で本文を読んでください。

3.1.2 書誌情報エリア

画像が表示されている図書や雑誌についての書誌情報（タイトル、著者、出版者など）を表示します。上部のタブ（図 3-2 赤枠）を押すことで、「書誌情報」タブ、「目次・巻号」タブ、「解題/抄録」タブに切り替えることができます。（「目次・巻号」タブや「解題/抄録」タブは、ないものもあります。）



図 3-2 書誌情報エリアのタブ

「書誌情報」タブ：書誌情報を表示します。「詳細レコード表示する」をクリックすると、より詳細な情報が表示されます。

「目次・巻号」タブ：目次のデータをもつ場合に表示されます。目次の見出し部分（青字）をクリックすると、そのページに移動します。

「解題/抄録」タブ：解題（資料の解説）をもつ場合などに表示されます（主に古典籍資料）。

3.1.3 操作ボタンによる操作

操作ボタン（図 3-3）では、次のような操作ができます。なお、画像表示エリアの画像は、マウスでドラッグすることで上下左右に動かすことができます。

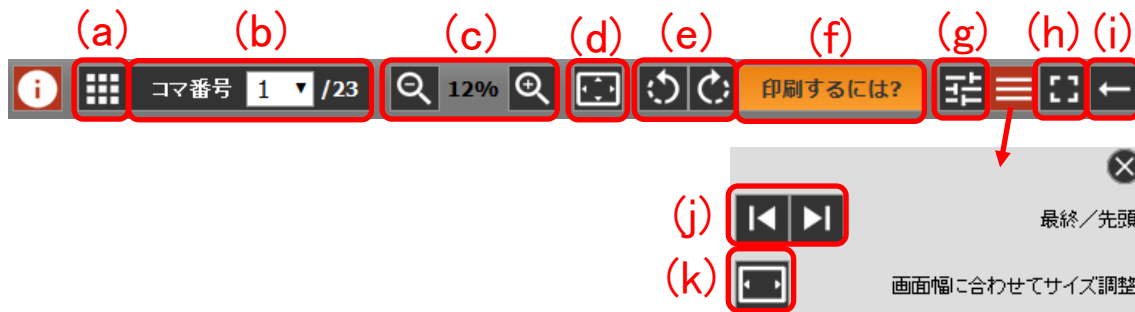


図 3-3 操作ボタンエリア

- (a) サムネイル（縮小した画像）を 20 コマずつ表示します。コマを選択するか、サムネイル一覧ボタンを再度押すと、通常の画像表示に戻ります。
- (b) コマ番号のリストから、コマを指定してそのコマに移動します。
- (c) 「+」を押すと画像が拡大し、「-」を押すと縮小します。画像表示エリア上でマウスのホイールを回転することでも操作可能です。
- (d) 1 コマの全体が画像表示エリアに収まるように表示します。
- (e) 画像を 90 度ずつ回転します。
- (f) 印刷の申込方法を案内するページが立ち上がります。「印刷するには？」ボタンが表示される画面からは、印刷することはできません。
- (g) 画面に表示する画像の画質を調整することができます。
- (h) 画像表示エリアをブラウザ内いっぱいに表示します。元の画面に戻るときは、「フルスクリーン解除」をクリックします。なお、フルスクリーン表示にすると操作ボタン部分が見えなくなりますが、マウスを画面上部に移動させると再度表示されます。
- (i) コマ送りの向きを示します。ボタンを押すことでコマ送りの向きを切り替えることができます。以下のように設定すると、原資料のページ向きにコマを送ることができます。
縦書き資料：←（左送り）
横書き資料：→（右送り）
コマ送り向きの設定は閲覧する資料を変更しても維持されます。

また、(g)と(h)の間のボタンで開閉する「その他ダイアログ」では、

- (j) 先頭、最終のコマに移動します。
- (k) 1 コマの横方向が画像表示エリアの横幅いっぱいになるように表示します。